

JHL NEWS

No.10

2012年11月5日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎が9連勝、車体、湧永も勝利を飾る

～第37回日本ハンドボールリーグ・第9週～

第37回日本ハンドボールリーグ・第9週は11月2日から4日にかけて男子3試合が行われ、全勝の大崎電気が北陸電力を一蹴して首位の座を守り、2位のトヨタ車体、3位の湧永製薬も譲らず白星を握った。

岩手での大崎－北電は、北電が7mスローで先制したが、その後は大崎の積極的なディフェンスを攻めあぐね、逆に大崎の速攻を許すという大崎ペースのゲーム展開となった。さらに大崎はクイックスタートやハーフ速攻で加点、落合、切越らで食らいつく北電に19-14と5点差をつけて前半を終えた。後半に入り、6分過ぎに北電が2人の退場者を出し、その間に大崎はサイドシュートを中心に加点すると18分頃からは若手を中心に切り替え、両チームとも速いテンポの攻めの応酬でリズムあるゲームをつくった。北電は山原らの活躍で24分過ぎに3点差まで迫ったが、大事な所で不正交代による退場者を出して万事休す。馬場、内田らで着実に加点した大崎が危なげなく逃げ切った。

愛知での車体－豊田合成は、渡部の7mスローで先取点を奪った車体がリズムをつかんで4-0と好スタート。この流れを断ち切りたい合成は、4分にタイムアウトを要求しペースを取り戻すことに成功、中島のゴールで反撃に転じ、中村を中心に得点を重ねていった。一方の車体も富田らの活躍で21分には13-8とリードを広げ、そのまま優位をキープして16-11で前半を終了。後半に入っても車体は木切倉らの得点で先行を続け、16分過ぎには鶴谷の連打で27-21と6点リード。それでも合成は17分のタイムアウトを機に中村らの3連取などで猛追を開始、25分には中島の得点で27-29と2点差まで肉薄した。しかし、合成の反撃もここまで。車体は光増がダメ押しの追加点を奪って合成の追撃をかわし、30-27で8勝目をマークした。

栃木での湧永－大同特殊鋼は、試合開始から湧永がリードする展開となった。新の速攻で先制すると、今井のポストシュートなどで12分8-3と主導権を握る。ここでタイムアウトを要求した大同は、戦術を確認し、ディフェンスで相手バックプレーヤーにより厳しくプレッシャーを与える、徐々に流れをつかみ出す。26分には末松、山城の速攻を含む5連打で13-11と逆転に成功した。湧永も悪い流れながらも簡単には離されずしっかりと食らいつく。前半終了間際に新の得点で同点とし、さらに相手の退場を誘う。この退場を活かし、後半3分までに湧永が3点のリードを奪い優位に立つ。湧永は詰め寄られる場面もあったが、ディフェンスではGK志水と中央を守ったルーキー成田、オフェンスでは中浦を中心に粘り、29-27で接戦を制し3連勝。次週、首位大崎との一戦に弾みをつけた。

次週は愛知と東京で男子4試合が行われ、首位の大崎が3位の湧永と対戦するほか、2位の車体が4位の琉球コラソンを迎えるなど好カードが組まれている。そのほかの2試合も接戦になりそうだ。



①開幕9連勝を飾った大崎電気・石川
②7勝目をマークした湧永製薬・新

第10週の日程

11月10日(土)	東京	墨田区総合体育館(JR総武線錦糸町駅徒歩3分)	14:00~	(男)トヨタ自動車東日本×北陸電力
			16:00~	(男)大崎電気×湧永製薬
	愛知	稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	12:30~	(男)トヨタ車体×琉球コラソン
			15:00~	(男)豊田合成×トヨタ紡織九州

◆ 11月2日(金) 男子 愛知・ウィングアリーナ刈谷			◆ 11月3日(土) 男子 栃木・栃木市総合体育館			◆ 11月4日(日) 男子 岩手・花巻市総合体育館		
トヨタ車体 30 (16-11) 8勝0分1敗	豊田合成 27 (14-16) 2勝2分5敗	大同特殊鋼 27 (15-15) 3勝1分5敗	大崎電気 33 (19-14) 9勝0分0敗	北陸電力 26 (14-12) 1勝0分8敗				
<0/1> K 木 下 4/ 8 石 戸 0/ 1 横 地 1/ 1 藤 本 0/ 1 藤 田 0/ 0 高 木 4/ 4 木 切 倉 0/ 0 津 屋 5/ 7 富 田 5/ 7 光 増 加 4/ 4 鶴 谷 <0/1> K 坪 0/ 0 香 川 5/ 7 崎 前 芳 1/2 1/ 3 渡 部 <0/1> K 甲 斐	榎 原 1/ 1 原 0/ 0 1/1 野 田 3/ 5 1/1 黒 木 1/ 2 大 橋 3/ 6 桶 谷 0/ 0 湯 脇 0/ 0 中 島 5/11 長 江 1/ 1 1/1 加 藤 0/ 0 藤 田 K <0/1> 今 村 4/ 9 中 村 4/ 5 芳 伸 2/ 3 藤 堂 K <1/1> 米 本 0/ 0	水 田 中 K 谷 村 原 6/13 坂 本 1/ 4 3/3 成 田 未 松 5/ 8 東 江 浦 田 0/ 0 佐 藤 渡 久 川 0/ 0 嘉 口 地 引 1/ 4 樺 口 武 田 5/ 8 新 仁 平 久 保 K 井 村 加 藤 3/ 5 松 村 山 城 2/ 4 古 家 東 K 浦 下 村 0/ 0 名 新 仁 0/ 0	澤 田 中 K 豊 田 井 田 2/ 3 宮 崎 2/ 4 長 濱 2/ 2 島 永 1/ 1 室 落 合 2/ 3 馬 場 小 川 0/ 0 瀬 原 0/ 0 永 戸 3/ 4 川 添 1/ 1 猪 妻 4/ 5 石 川 3/ 5 吉 田 1/ 2 時 村 櫛 1/ 2 信 太 2/ 5	澤 田 2/ 3 豊 田 2/ 3 宮 崎 2/ 3 長 濱 0/ 0 島 永 3/ 8 室 落 合 3/ 3 馬 場 小 川 0/ 0 瀬 原 3/ 4 永 戸 0/ 0 川 添 2/ 2 猪 妻 5/14 2/2 石 川 1/ 3 吉 田 K 時 村 櫛 1/ 2 信 太 2/ 5				
1/2 29/43 1(FPP)9	24/43 3/3	0/0 29/48 2(FPP)5	24/48 3/3	1/4 32/50 3(FPP)10	24/50 2/2			
0.000 0/ 7 木 下 0.429 6/14 坪 根 0.471 8/17 甲 斐	藤 田 2/12 0.167 藤 堂 3/22 0.136	志 水 田 中 3/ 7 0.429 4/ 7 松 村 久 保 2/13 0.154 8/22 0.364	0.323 10/31 志 水 田 中 3/ 7 0.429 0.571 4/ 7 松 村 久 保 2/13 0.154 8/22 0.364	7/19 東 田 廣瀬 5/28 0.179 9/21 吉 田 川添 3/ 7 0.429 有 江 0/ 5 0.000				
0.368 14/38 (GK) 審判(河合・臼井)	5/34 0.147 観客 1050人	0.368 14/38 (GK) 審判(河合・臼井)	13/42 0.310 観客 614人	0.400 16/40 (GK) 審判(多田・市丸)	8/40 0.200 観客 1001人			

男子個人ランキング 第9週終了現在

得点王

- 東長濱秀作(琉球コラソン) 59点(8試合)
- 中島晋太郎(豊田合成) 55点(9試合)
- 新 建二(湧永製薬) 50点(9試合)
- 村山 裕次(琉球コラソン) 48点(8試合)
- 赤塚 孝治(北陸電力) 48点(9試合)
- 富田 恭介(トヨタ車体) 46点(9試合)
- 渡部 仁(トヨタ車体) 46点(9試合)
- 上野 承太(トヨタ自動車東日本) 46点(8試合)
- 宮崎 大輔(大崎電気) 45点(9試合)
- 東長濱秀希(大崎電気) 44点(9試合)
- 鈴木 済(トヨタ紡織九州) 42点(8試合)

フィールド得点

- 中島晋太郎(豊田合成) 55点(9試合)
- 新 建二(湧永製薬) 50点(9試合)
- 村山 裕次(琉球コラソン) 48点(8試合)
- 東長濱秀作(琉球コラソン) 47点(8試合)
- 富田 恭介(トヨタ車体) 46点(9試合)
- 宮崎 大輔(大崎電気) 45点(9試合)
- 上野 承太(トヨタ自動車東日本) 43点(8試合)
- 鈴木 済(トヨタ紡織九州) 42点(8試合)
- 武田 享(大同特殊鋼) 41点(9試合)
- 切越 巧也(北陸電力) 38点(9試合)
- 赤塚 孝治(北陸電力) 37点(9試合)

シュート率

(フィールド得点ベスト10を対象)

- 富田 恭介(トヨタ車体) 46点/62射0.742
- 新 建二(湧永製薬) 50点/72射0.694
- 鈴木 済(トヨタ紡織九州) 42点/68射0.618
- 中島晋太郎(豊田合成) 55点/94射0.585
- 宮崎 大輔(大崎電気) 45点/79射0.570
- 武田 享(大同特殊鋼) 41点/74射0.554
- 村山 裕次(琉球コラソン) 48点/95射0.505
- 切越 巧也(北陸電力) 38点/76射0.500
- 東長濱秀作(琉球コラソン) 47点/105射0.448
- 上野 承太(トヨタ自動車東日本) 43点/117射0.368

7mスロー得点

- 東長濱秀希(大崎電気) 15点(9試合)
- 野村 喜亮(大同特殊鋼) 12点(9試合)
- 東長濱秀作(琉球コラソン) 12点(8試合)
- 赤塚 孝治(北陸電力) 11点(9試合)
- 樋口 瞳(湧永製薬) 10点(9試合)
- 渡部 仁(トヨタ車体) 10点(9試合)
- 崎前 健治(トヨタ自動車東日本) 7点(8試合)
- 藤山 岳士(トヨタ紡織九州) 7点(8試合)
- 野田 祐希(豊田合成) 6点(9試合)
- 柳 匠郎(トヨタ紡織九州) 5点(8試合)
- 東江 太輝(湧永製薬) 4点(9試合)

シュート阻止率

- (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子6位以内のGKが対象)
- 甲斐 昭人(トヨタ車体) 93本/223射0.417
 - 浦和 克行(大崎電気) 108本/260射0.415
 - 石田 孝一(琉球コラソン) 99本/285射0.347
 - 藤堂 聖二(豊田合成) 66本/190射0.347
 - 久保 侑生(大同特殊鋼) 80本/235射0.340
 - 志水 孝行(湧永製薬) 91本/270射0.337
 - 松野 雅崇(トヨタ紡織九州) 80本/251射0.319
 - 関口 勝志(トヨタ自動車東日本) 119本/403射0.295
 - 廣瀬 駒優(北陸電力) 55本/190射0.289

7mスロー阻止率

- (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)
- 久保 侑生(大同特殊鋼) 5本/12射0.417
 - 志水 孝行(湧永製薬) 6本/16射0.375
 - 廣瀬 駒優(北陸電力) 6本/17射0.353
 - 木下 国大(トヨタ車体) 3本/9射0.333
 - 松村 昌幸(湧永製薬) 3本/9射0.333
 - 内田 武志(琉球コラソン) 4本/16射0.250
 - 藤堂 聖二(豊田合成) 3本/12射0.250
 - 関口 勝志(トヨタ自動車東日本) 3本/13射0.231

(※女子のランキングは前号参照)

第4回チャレンジ・ディビジョン

第4回チャレンジ・ディビジョンはAブロックが11月4日岐阜で第2節2試合、Bブロックは同3日三重で第1節3試合が行われ、Aブロックは前年優勝のH.C岐阜が順当に開幕2連勝を飾り、BブロックもHondaが連勝発進した。

〈Aブロック・第2節〉

11月4日岐阜・上石津体育館

- H.C春日井25 (13-10)
12-13 23岐阜聖徳学園大学
- H.C岐阜47 (24-11)
23-5 16同朋クラブ

〈Bブロック・第1節〉

11月3日三重・ホンダアクティブランド

- Hond a28 (15-12)
13-5 17HC・MKA奈良
- Hond a30 (12-12)
18-11 23八光自動車
- TOYAMA選抜28 (11-12)
17-11 23HC・MKA奈良

△次節以降の日程

〈Aブロック〉

11月24日愛知・大同特殊鋼体育館

- 13:00~H.C春日井-同朋クラブ
15:00~トヨタ自動車-岐阜聖徳学園大学

12月9日岐阜・上石津体育館

- 10:30~H.C岐阜-岐阜聖徳学園大学
12:30~トヨタ自動車-H.C春日井

1月12日愛知・トヨタ車体体育館

- 13:00~岐阜聖徳学園大学-同朋クラブ
15:00~H.C岐阜-トヨタ自動車

〈Bブロック〉

11月10日福井・北陸電力体育館

- 13:00~OSAKA SELECTION-八光自動車
15:00~Honda-TOYAMA選抜

11月25日富山・富山市八尾スポーツアリーナ

- 13:00~OSAKA SELECTION-HC・MKA奈良
15:00~TOYAMA選抜-八光自動車

12月9日岐阜・上石津体育館

- 14:30~OSAKA SELECTION-TOYAMA選抜

1月13日兵庫・神戸国際大

- 13:00~八光自動車-HC・MKA奈良

- 15:00~Honda-OSAKA SELECTION

第37回日本ハンドボールリーグ成績表

第9週第3日終了 11月4日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	琉球コラソン	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差		
1	大崎電気		39 ○ 31	30 ○ 23	34 ○ 19	29 ○ 26	34 ○ 29	38 ○ 30	41 ○ 21	38 ○ 24	33 ○ 26	9	9	0	0	18	316	229	87	
2	トヨタ車体	31 ● 39		29 ○ 26	29 ○ 25	36 ○ 24	33 ○ 27	37 ○ 30	45 ○ 19	37 ○ 27		9	8	0	1	16	307	244	63	
3	湧永製薬	23 ● 30	26 ● 29		27 ○ 25	32 ○ 27	29 ○ 27	33 ○ 28	30 ○ 20	43 ○ 26	26 ○ 22		9	7	0	2	14	269	234	35
4	琉球コラソン	19 ● 34	25 ● 29	25 ● 27		20 ○ 19	31 ○ 29	20 ○ 20	37 ○ 18	25 ● 33		8	3	1	4	7	202	209	-7	
5	大同特殊鋼	26 ● 29	24 ● 36	27 ● 32	27 ● 29	19 ● 20		21 △ 21	29 ○ 24	41 ○ 22	28 ○ 21		9	3	1	5	7	242	234	8
6	トヨタ紡織九州	29 ● 34	27 ● 33	28 ● 33	29 △ 31	21 △ 21		27 △ 27	38 ○ 21	32 ○ 28		8	2	2	4	6	231	228	3	
7	豊田合成	30 ● 38	30 ● 37	27 ● 30	20 △ 20	20 ● 29	24 △ 27		26 ○ 24	30 ○ 24		9	2	2	5	6	234	259	-25	
8	トヨタ自動車東日本	21 ● 41	19 ● 45	26 ● 43	18 ● 37	22 ● 41	21 ● 38	24 ● 26		32 ○ 30		8	1	0	7	2	183	301	-118	
9	北陸電力	24 ● 38	26 ● 33	27 ● 37	22 ● 26	33 ○ 25	21 ● 28	24 ● 32	30 ● 30			9	1	0	8	2	235	281	-46	

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッスン	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差			
1	オムロン		22 ○ 18	22 ○ 16	30 ○ 18	19 ○ 15	33 ○ 16	32 ○ 14		7	7	0	0	14	191	113	78	
2	北國銀行	18 ● 22	16 ● 22		32 ○ 24	26 ○ 25	23 ○ 17	36 ○ 7		7	5	0	2	10	184	126	58	
3	広島メイプルレッスン	18 ● 30	24 ● 32		30 ○ 26	27 ○ 22	38 ○ 17	32 ○ 17		7	5	0	2	10	198	158	40	
4	ソニーセミコンダクタ	15 ● 19	25 ● 26	17 ● 23	22 ● 27		25 ○ 16	29 ○ 17		7	2	0	5	4	159	158	1	
5	三重バイオレットアイリス	16 ● 33	7 ● 36	17 ● 38	17 ● 32	16 ● 25		23 ○ 16	20 ○ 14		7	2	0	5	4	116	194	-78
6	HC名古屋	16 ● 33	14 ● 29	14 ● 29	17 ● 29	16 ● 23	14 ● 20			7	0	0	7	0	100	199	-99	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。